



令和2年 町内の火災等発生状況

発生区分	12月中	累計
建物	0	5
車両	0	0
火災 林野	0	1
航空機	0	0
その他	0	7
警戒出動	0	19
救急出動	146	1,370
救助出動	2	9

岡益城西原消防署 ☎286-2119

事故・犯罪区分	町内		御船署管内	
	12月中	累計	12月中	累計
人身事故	4	52	13	137
物損事故	85	711	183	1,776
空き巣	0	1	0	3
自販機狙い	0	1	0	3
万引き	0	3	1	30
オートバイ盗	0	0	0	0
自転車盗	0	2	1	12
車上狙い	1	4	1	10

令和2年  
町内・御船署管内の  
事故・事件の発生状況

岡御船警察署・  
御船地区防犯協会連合会  
☎282-1110  
☎261～264

## 人権教育シリーズ

益城町教育委員会

### Vol. 477 障がい者への言葉掛けから思うこと

昨年、ある民放のテレビ番組に見入ってしまうことがありました。障がいのある方々とその仲間たちの活動に視点を置いた番組でした。

街角でインタビューが行われ、通りがかりの人に「障がいのある方に言葉を掛けるとしたらどんな言葉を掛けますか?」という質問がありました。インタビューを受けた方は、しばらく考えて「頑張ってもらいたいです」と回答しました。

すると、それを聞いた周りにいた障がいのある方々とその仲間たちが立ち上がり、「頑張らない。頑張らない。私なりってことでいいでしょう…」と声をそろえて訴えました。

別の人へのインタビューでも、返ってくる言葉は「頑張ってもらいたいです」でした。その度に「頑張らない」の訴えが繰り返されました。

数回、同じシーンを見るうちに熊本地震の時に耳に

した「これ以上何を頑張れと言うの! 私たちは十分頑張ってます」という被災した人々の言葉を思い出しました。熊本地震の際にも同じようなことがありました。その時、互いに励まし合うために使われていた言葉は「元気ね! 体は大丈夫ね?」だったと、番組を見ながら改めて大事な事が確認できました。それは、「私たちなりに精一杯頑張ってます」という思いが訴えの中にあることでした。いろんな意味で「共生」の在り方を考える機会となった番組でした。

私たちの身近なところには、さまざまな形で配慮を必要とする人がいると思います。町民一人一人が、どのような関わり方、接し方をすればよいのかをしっかりと考え、みんなが安心して住みやすい益城町になるように努めていきたいものです。

#### 人権についての電話による相談窓口(平日のみ)

##### 同和問題をはじめとするさまざまな人権問題

熊本県人権センター ☎384-5822

午前9時～正午と午後1時～4時

##### 法律問題、人権問題、人権侵害への救済について

みんなの人権110番 ☎0570-003-110

午前8時30分～午後5時15分

##### 女性の人権

女性の人権ホットライン ☎364-0417

午前8時30分～午後5時15分

##### 障がい者の人権および権利擁護

障がい者110番 ☎354-4110 午後1時～5時

##### 子どもの人権

子どもの人権110番 ☎0120-007-110

午前8時30分～午後5時15分

##### いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎286-1770

午前8時30分～午後5時15分

##### さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎286-3115

午前8時30分～午後5時15分